

F—24 変化する社会に適應する家庭経営の研究
—余暇生活の追跡とその善用について—

武庫川女大家政	○須見	恒子
兵庫県立柏原高	岩下	富子
兵庫県立篠山産業高	中西	美知
西宮市立西宮高	上埜	照枝

1. 余暇問題は家庭科教育だけでなく、大きな国民的課題となって来ております折柄、余暇時間の使い方についての実態を調査し、特に年令別・学歴別に考察を試み、更に、レジャー意識を探りその関連の上に立って今後の方向をみつけようとしてしました。

2. 1) 調査時期 昭和44年5月～6月

2) 調査対象

都 市(大阪・西宮・伊丹・甲子園・姫路)

対 象(一般男子・主婦・職業婦人・高校生・大学生)

3) 内容

○余暇時間とその使い方

○ギャンブルについて

○旅行について

○パートタイムについて

○レジャー意識について

3. 各項目についての細かい分析は紙面の都合で省略しますが、実態調査の結果年令別からも学歴別からも、レジャーを求める意識は相当に強く、しかし余暇時間の使い方には一考を要する事を感じました。余暇生活の指導の重要性を認識し、家庭科教育の上にこの研究を生かして参りたいと願っております。